

MAFF ナビ いわて

東北農政局 岩手県拠点
令和8年4月

本紙は、農業や食料に関する情報をデータとともに提供し、農業関係者から消費者まで、皆さんに農産物の生産・消費に興味を持っていただき、考える材料として発信しています。

今回は、令和7年12月23日に公表された「令和6年農業産出額及び生産農業所得」を中心に、岩手県における農業生産の状況を紹介します。

◆ 令和6年の岩手県の農業産出額は、米の価格上昇等で、前年に比べ12.6%増加

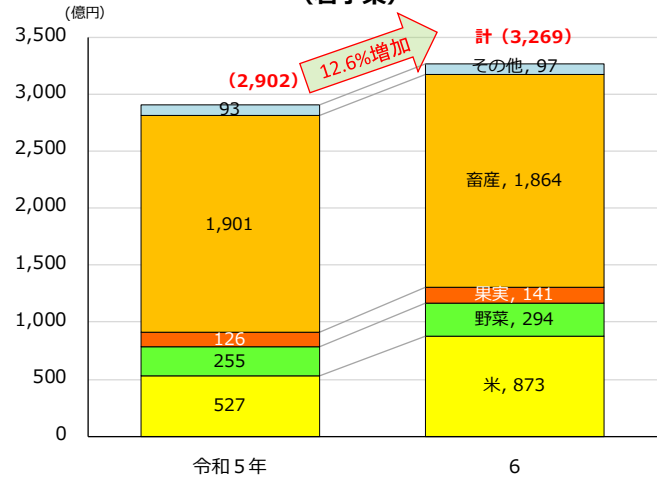
岩手県の令和6年農業産出額は3,269億円となり、前年に比べ367億円(12.6%)増加しました。

これは、米の価格が大幅に上昇し、米の農業産出額が前年から346億円(65.7%)増加したことが主な要因となっています(表1、図1)。

部門別の農業産出額の割合では、米が18.2%から26.7%へ8.5ポイント増加しました(図2)。

また、農産物生産によって得られた生産農業所得は1,100億円となり、前年の876億円から224億円(25.6%)増加しました(表1)。

図1 部門別農業産出額(令和5年、6年)
(岩手県)



資料：農林水産省「生産農業所得統計」(以下同じ)。

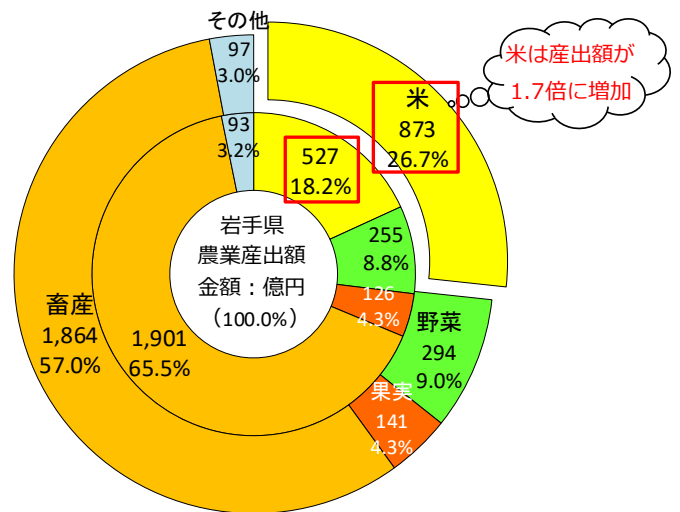
注：畜産は肉用牛、乳用牛、豚、鶏及びその他の畜産物の各部門の合計である(以下同じ)。

表1 令和6年農業産出額及び生産農業所得(岩手県)

区分	令和6年農業産出額		対前年	(参考)
	億円	構成割合 %	増減率 %	令和5年 億円
農業産出額	3,269	100.0	12.6	2,902
うち耕種計	1,405	43.0	40.5	1,000
うち米	873	26.7	65.7	527
野菜	294	9.0	15.3	255
果実	141	4.3	11.9	126
花き	44	1.3	0.0	44
うち畜産計	1,864	57.0	△1.9	1,901
うち肉用牛	253	7.7	1.6	249
乳用牛	268	8.2	5.1	255
豚	415	12.7	7.0	388
鶏	917	28.1	△8.2	999
うち加工農産物	0	0.0	nc	0
生産農業所得	1,100	-	25.6	876

注1：乳用牛には生乳、鶏には鶏卵及びブロイラーを含む(以下同じ)。
注2：ncは、計算不能である。

図2 部門別農業産出額割合(令和5年、6年)
(岩手県)



注：外円は令和6年、内円は令和5年である。

「農業産出額」と「生産農業所得」

- 「農業産出額」は、都道府県を推計単位とし、品目ごとの生産数量に農家庭先販売価格^{注)}(消費税を含む。)を乗じて推計したものです。
- 「生産農業所得」は、農業算出額から物的経費を控除し、経常補助金を実額加算したものです。

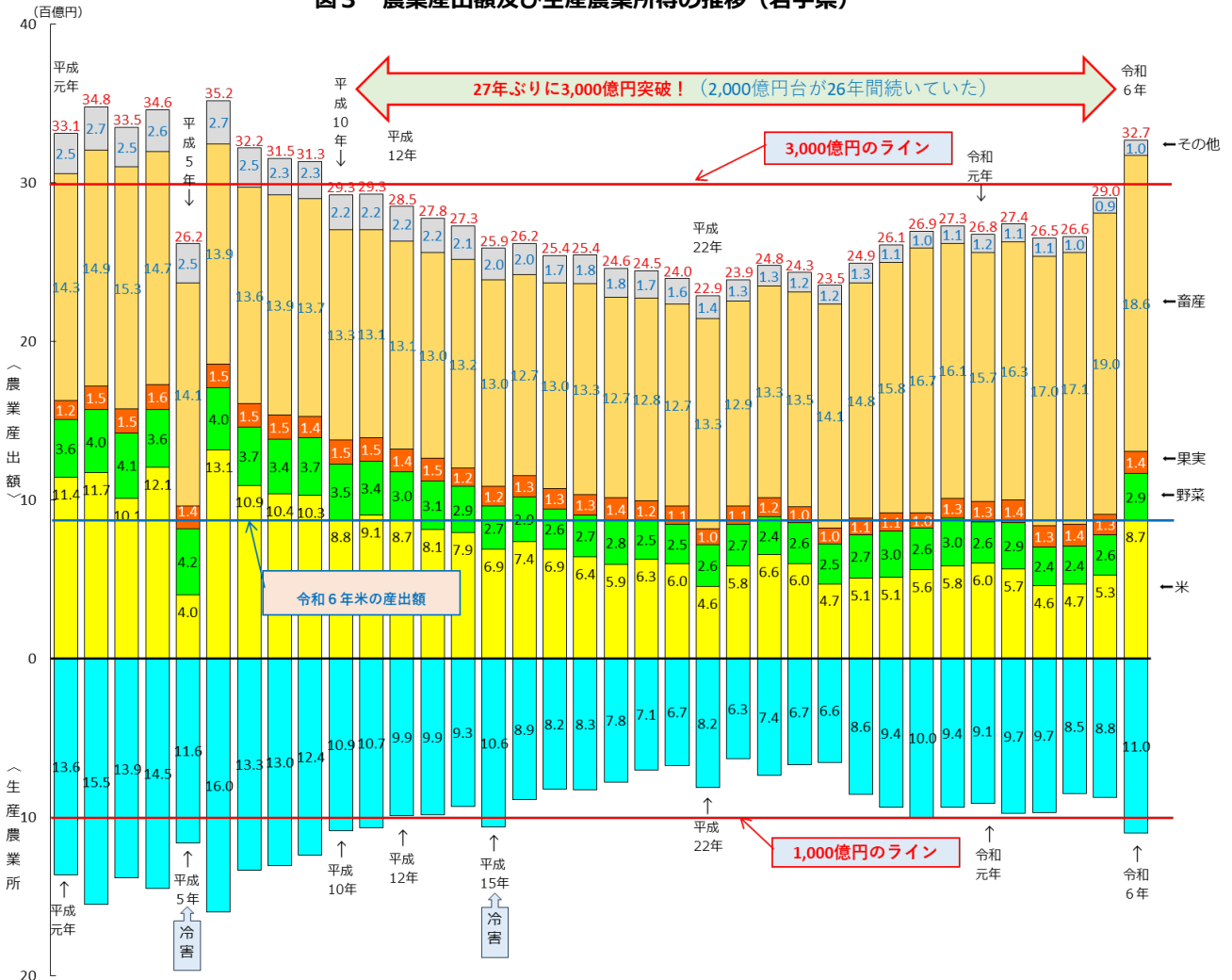
注)：「農家庭先販売価格」とは、農業経営体が出荷した時点における価格から販売手数料や運賃を差し引いた価格です。

◆ 岩手県の農業産出額が 27 年ぶりに 3,000 億円台！

岩手県の農業産出額は、昭和 53 年に初めて 3,000 億円台となりました。

その後、平成 10 年からは 2,000 億円台を推移していましたが、米の価格が上昇したこと等から、令和 6 年に 27 年ぶりの 3,000 億円台となっています（図 3）。

図 3 農業産出額及び生産農業所得の推移（岩手県）



◆ 岩手県における品目別農業産出額（上位 10 品目）

令和 6 年岩手県の農業産出額は、全国で 10 位、東北では 2 位となっています。

これを品目別に見ると、第 1 位は米の 873 億円（対前年増減率+65.7%）、第 2 位がブロイラーで 691 億円（同△2.0%）、第 3 位が豚の 415 億円（同+7.0%）等、となっています（表 2）。

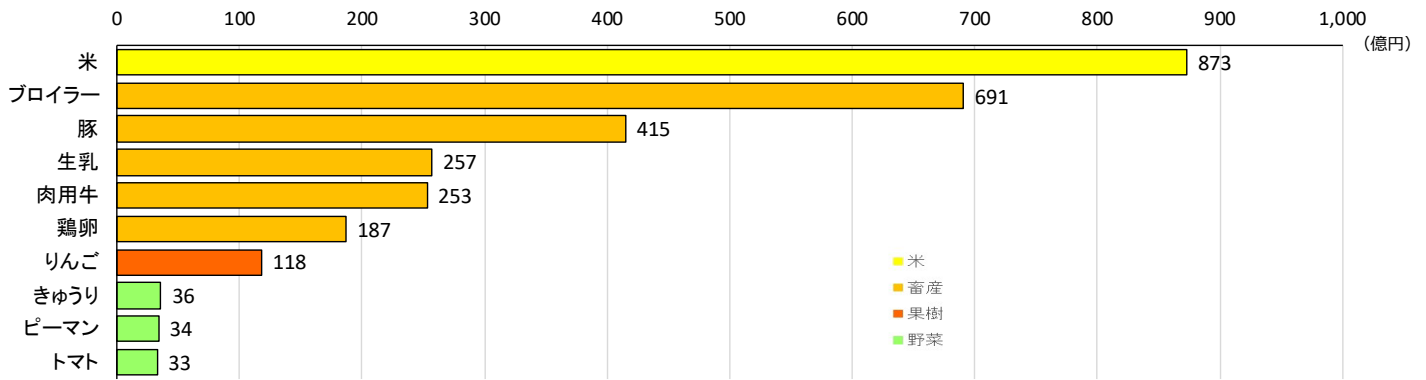
上位 10 品目中、畜産部門が 5 品目ランクインしており、岩手県において畜産部門の割合（57.0%）が高いことがわかります（表 1、図 4）。

表 2 農業産出額上位 10 品目（岩手県）

区分	産出額	対前年増減率		全国順位	
		億円	%	位	位
農業産出額	3,269		12.6	10	(10)
1位 米	873		65.7	11	(10)
2位 ブロイラー	691		△ 2.0	3	(3)
3位 豚	415		7.0	6	(7)
4位 生乳	257		4.9	4	(4)
5位 肉用牛	253		1.6	6	(8)
6位 鶏卵	187		△ 24.9	14	(15)
7位 りんご	118		13.5	3	(3)
8位 きゅうり	36		28.6	14	(15)
9位 ピーマン	34		13.3	5	(5)
10位 トマト	33		13.8	21	(23)

注 1：順位付けは、秘密保護上統計数値を公表していない都道府県を除いたものであり、原数値（100 万円）より判定した。
 2：（ ）は前年の全国順位である。

図4 岩手県における品目別農業産出額（上位10品目）



◆ 岩手県における品目別農業産出額の推移（上位10品目）

令和6年における県内上位10品目の推移（過去10年間）を見てみました(図5、6)。

(米)

第1位の米が、取引価格の上昇により、大きく上昇していることが見て取れます。

(畜産)

畜産部門では、第2位のブロイラー及び第6位の鶏卵が前年に比べ減少したものの、第3位の豚、第4位の生乳及び第5位の肉用牛がそれぞれ増加しています。

(果実)

果実部門では、第7位のりんごが前年を上回り、7年連続で100億円を達成しています。

(野菜)

野菜部門では、きゅうり、ピーマン及びトマトが第8位から第10位となっています。いずれも50億円には達しないものの前年を上回っています。

(花き)

上位10品目には該当していませんが、全国1位であるりんどうは、令和6年は20億円となっており、ここ10年は20億円前後で推移しています。

(参考)

上位10品目で岩手県の農業産出額のおおむね9割を占めています。

図5 品目別農業産出額の推移（上位10品目）

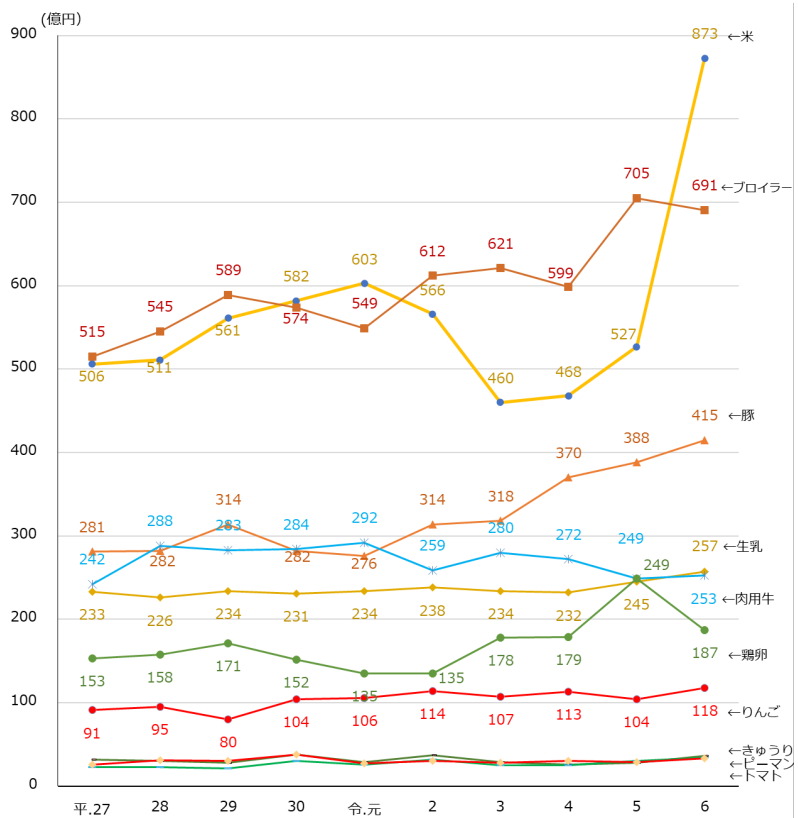
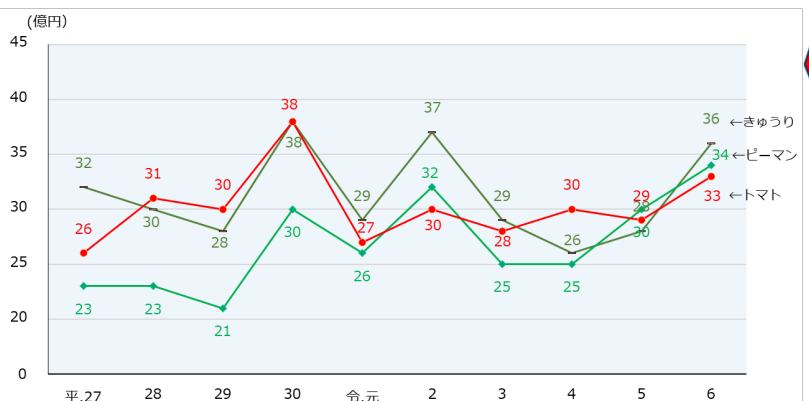


図6 品目別農業産出額の推移（上位10品目のうち100億円未満）



拡大

◆ “米（コメ）”で収益性の高い農業を実現するために！

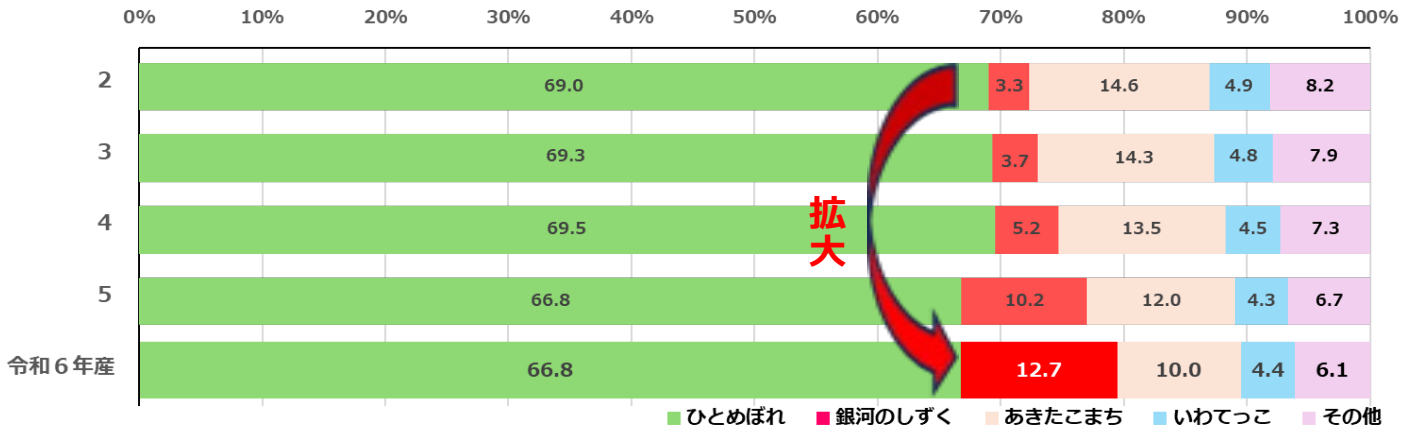
岩手県の生産農業所得に大きく寄与している米（コメ）について、岩手県産米の品種構成と品質・食味について見ていきます。

（水稲作付面積及び品種別作付け面積割合）

岩手県の令和6年産水稲（主食用）の作付面積を見ると43,100haとなっており、品種別にみると第1位が「ひとめぼれ」、第2位「銀河のしずく」、第3位「あきたこまち」となっています。令和5年産までは、あきたこまちが第2位となっておりましたが、県のオリジナル品種である「銀河のしずく」が急速に作付拡大していることがうかがえます（図7）。

（※ 令和7年産からは、県北部を中心に新たなオリジナル品種「白銀のひかり」の作付が行われています。）

図7 品種別作付面積割合の推移（岩手県）



資料：農林水産省大臣官房統計部「平年単収が増減する都道府県の生産事情（詳細版）」
注：作付面積割合は、農林水産省大臣官房統計部が関係機関等の情報から推計した。

（品質・食味）

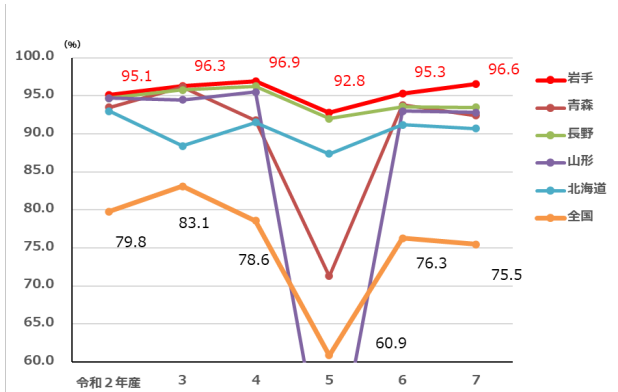
岩手県では、高品質・良食味な米の安定生産の取組が進められており、岩手県の「1等米比率」は5年連続全国第1位の高品質となっています（図8）。

良食味についても、日本穀物検定協会の「米の食味ランキング」において「銀河のしずく」が3年連続して“特A”、「ひとめぼれ（県南）」については令和7年産が“特A”に返り咲いています（表3）。

また、岩手県では、令和7年7月に「いわて農業生産強化ビジョン」を作成し、「全国的に米の価格高騰が続いている中、米の主産県として、気候変動に対応した品種開発、県オリジナル品種の生産拡大、生産性の向上、良食味・高品質米の安定生産の取組を推進します。」としています。

岩手県拠点では、岩手県と連携しながら“米（コメ）”で収益性の高い農業を実現するために取組んでいきます。

図8 1等米比率の推移（全国及び上位5県）



資料：農林水産省「米の検査結果」
注：令和7年産については、令和7年12月31日までの速報値である。

表3 米の食味ランキング

地区	品種	令和5年産	令和6年産	令和7年産
県中	ひとめぼれ	A	A	A
県南	ひとめぼれ	A	A	特A
県中	あきたこまち	A'	A	A
県中	銀河のしずく	特A	特A	特A

資料：日本穀物検定協会「令和7年米の食味ランキング」

米の食味ランキング

ここでいう食味ランキングは、一般財団法人 日本穀物検定協会が実施している“米の食味試験”の結果です。

基準米とおおむね同等のものを「A'」、特に良好なものを「特A」、良好なものを「A」、やや劣るものを「B」、劣るものを「B」として評価・発表しています。

なお、試験の対象基準は、作付面積1,000ha以上または生産量5,000t以上を基本としています。

・当拠点では農林水産データの活用支援を行っています。

遠慮なくご相談ください。

東北農政局岩手県拠点
岩手県盛岡市盛岡駅前北通1-10
019-624-1125

MAFF